

保守勢の圧勝で終わった参院選 続く選挙は11月の松戸市議選

なかなか終息が見えない新型コロナウイルスの感染拡大とあわせて、ロシア・ウクライナ戦争による世界的な生産・物流の混乱も重なり、国際経済は大きな打撃を受けています。その負担は日本経済にも押し寄せ、政府はどうのように経済活動と暮らしの安定を両立させるかという点において、難しい舵取りを迫られています。

そのような状況で行われた参議院議員選挙ですが、去る7月10日の投開票の結果、自民が圧勝し、保守系政黨のいずれも堅調に議席を維持・拡大する結果となりました。インフレ対策や上がらない賃金などへの不満を切り口として巻き返しを図った野党ですが、結果としてその思いを国民につながることはできませんでした。



投票日の直前に、安倍晋三元首相が、奈良市での応援演説中に凶弾に倒れるという痛ましい事件が発生してしまいました。これによって、自民及び保守政党に一定の票が流れたという分析もありますが、しかしそれが自民圧勝の主要因とはいえません。

私は市議会議員として初当選させていただいて以来、一貫して自民系の議員として活動して参りました。それゆえ、もちろん今回の参院選の結果には満足する気持ちが大きくなっています。しかし、大勝したことに気を許してはいけないとも思っています。

インターネットの普及によって、極端な世論が形成される傾向が強くなっています。保守的な考えはより右傾化し、左派的な主張はより過激に、よりラディカルになってきているのです。中道を目指す勢力が弱くなっていることが、私にとってはとても気がかりです。憲法改訂に必要な国会の1/3の議席を現実的に持った今こそ、保守系勢力が冷静かつ現実的な議会運営と政策立案に向かわなければならないと思います。

そして、保守圧勝を受けて、11月には松戸市議会議員選挙が行われます。私も5期目登壇を目指して参戦することになりますが、不安定な世相にある今だからこそ、確実に市民から求められている政策はなんのかを改めて認識することの重要性を感じています。1つの政党が強い時代こそ、ムードに流される政治はとても危険です。



HPもご覧ください！ みのわ信矢 検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94



みのわ信矢 プロフィール

昭和42年 松戸市常盤平生まれ
昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
昭和58年 青山学院 中等部 卒業
昭和61年 青山学院 高等部 卒業
最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部